

## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年9月29日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7519 URL <http://www.goyointex.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川勝 宣昭  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菊地 徹 (TEL)03(6281)9861  
 四半期報告書提出予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	213	△23.7	△155	—	△158	—	△158	—
2020年3月期第1四半期	280	△14.4	△49	—	△50	—	△73	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △158百万円 ( —%) 2020年3月期第1四半期 △73百万円 ( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△14.87	—
2020年3月期第1四半期	△7.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	646	345	53.4
2020年3月期	794	404	50.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 345百万円 2020年3月期 404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	10,815,585株	2020年3月期	10,101,585株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,595株	2020年3月期	3,595株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	10,678,605株	2020年3月期1Q	10,098,079株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。そのため、2019年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期（当期）純損失、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とする緊急事態宣言が発令される中、経済・社会活動が制限され、個人消費の低迷や経済活動の停滞など、非常に厳しい状況が続きました。また、世界経済につきましても、各国での経済活動の制限などにより、先行きに対する混迷の度合いが高まっております。当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼす新設住宅着工総戸数は減少傾向が続き、先行きは未だ厳しいものとなっております。

売上高は、室内装飾品関連では、経済・社会活動が制限される中、出来る限り販売を強化しましたが、主にマンション業者への販売及び工務店等への販売が振るわず減少となり、メディカル関連では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため渡航制限されたことにより、インバウンドによる売上はありませんでした。

利益面におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が大幅に減少したことと、また、販売費及び一般管理費において業務委託費及び賃借料が増加したため、大幅なマイナスとなりました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比23.7%減の213百万円、営業損失は155百万円（前年同四半期は49百万円の営業損失）、経常損失は158百万円（前年同四半期は50百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は158百万円（前年同四半期は73百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

第2四半期以降におきましては、室内装飾品関連では引き続き見本帳「サザンクロス」による販売強化を図るとともに、パートナー（代理店）戦略の強化を実施して売上高を確保により収益拡大を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (室内装飾品関連)

売上高は、主にマンション業者への販売が振るわず減少し、また販売費及び一般管理費も増加しました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比23.3%減の214百万円、営業損失は102百万円（前年同四半期は49百万円の営業損失）となりました。

#### (メディカル関連)

新型コロナウイルス感染症の流行による渡航制限のため、医療を目的とした観光客が減少し、また販売費及び一般管理費も増加しました。（前年同四半期の売上高は株式会社キュアリサーチが連結子会社から除外されたことにより、実績はありませんでした）。

以上の結果、売上高は△0百万円、営業損失は52百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ161百万円減少して509百万円となりました。これは現金及び預金が25百万円減少、受取手形及び売掛金が63百万円減少したことなどによります。固定資産は、14百万円増加して136百万円となりました。これは、建物及び構築物（純額）が17百万円増加、差入保証金が1百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ147百万円減少し、646百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少して247百万円となりました。これは、短期借入金40百万円減少、支払手形及び買掛金が19百万円減少、未払金が22百万円減少したことなどによります。固定負債は、2百万円減少して53百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が2百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ88百万円減少し、301百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少して345百万円となりました。これは、第三者割当による新株式の発行により資本金及び資本剰余金が49百万円増加したものの、四半期純損失の計上により利益剰余金が158百万円減少したことなどによります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後、新型コロナウイルスの感染拡大が業績に与える影響は不透明であるため、2020年8月27日に公表いたしました連結業績予想の修正は行っておりません。現状の見通しに変化がある場合は速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	91,449	66,377
受取手形及び売掛金	200,637	137,609
商品	265,573	256,108
貯蔵品	2,843	2,431
未収入金	54,967	36,396
未収消費税等	-	2,976
その他	56,388	51,513
貸倒引当金	△210	△43,421
流動資産合計	671,650	509,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,568	23,675
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	6,568	23,675
投資その他の資産		
破産更生債権等	87,776	87,776
差入保証金	87,145	85,151
その他	28,841	27,911
貸倒引当金	△87,776	△87,776
投資その他の資産合計	115,987	113,063
固定資産合計	122,555	136,738
資産合計	794,206	646,729

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	65,097	45,901
短期借入金	140,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	8,350	5,800
リース債務	2,156	2,114
未払金	60,283	37,432
未払法人税等	15,855	19,169
未払消費税等	15,412	12,535
賞与引当金	8,035	7,847
その他	18,272	16,799
流動負債合計	333,464	247,600
固定負債		
リース債務	4,934	4,406
退職給付に係る負債	36,911	34,693
資産除去債務	14,638	14,640
固定負債合計	56,484	53,740
負債合計	389,949	301,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,434,489
資本剰余金	699,277	749,257
利益剰余金	△1,677,636	△1,836,464
自己株式	△1,893	△1,893
株主資本合計	404,256	345,389
純資産合計	404,256	345,389
負債純資産合計	794,206	646,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	280,013	213,644
売上原価	144,753	115,117
売上総利益	135,260	98,526
販売費及び一般管理費	184,608	254,013
営業損失(△)	△49,348	△155,487
営業外収益		
受取利息	338	149
受取配当金	406	0
為替差益	595	-
貸倒引当金戻入額	3	-
その他	1,083	528
営業外収益合計	2,425	678
営業外費用		
支払利息	1,855	2,714
売上割引	213	19
為替差損	-	304
その他	1,148	327
営業外費用合計	3,217	3,364
経常損失(△)	△50,140	△158,173
特別利益		
子会社株式売却益	59,974	-
特別利益合計	59,974	-
特別損失		
貸倒引当金繰入額	80,000	-
特別損失合計	80,000	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△70,166	△158,173
法人税、住民税及び事業税	3,252	653
法人税等合計	3,252	653
四半期純損失(△)	△73,418	△158,827
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,418	△158,827



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△73,418	△158,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△299	-
その他の包括利益合計	△299	-
四半期包括利益	△73,717	△158,827
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△73,717	△158,827

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、2015年3月期以降営業損失を計上する状況が続き、当第1四半期連結会計期間においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するために以下の対応策を継続して実施しております

室内装飾品関連は、①経営陣の刷新に伴うトップセールスによる新規顧客の開拓、②積極的なマーケティング及びデジタルマーケティングによる既存顧客の取引額のアップ、③パートナー（代理店）戦略の強化、④営業手法において顧客関係性マネジメント（CRM）の徹底及び営業支援システム（SFA）の導入により業務効率化、⑤メインブランド「サザンクロス」見本帳の大幅改訂により、一定の売上高は確保致しました。また、当期におきましては、「インハウス」見本帳の改訂に着手し、販売強化を実施して売上高の増加を図っています。

また、資金面におきましては増資または借入による長期安定資金の調達を検討し、投資家や事業会社と協議を進めてまいります。

しかしながら、売上高の増加に係る対応策につきましてはすでに着手しているものの、成果が出るまでに一定の期間を要します。そのため、同時に最大限の経費削減に努め、財務体質改善及び会社構造の改善に努めてまいります。また、資金調達に関しては調達先との協議に遅延が生じる恐れがあります。以上により、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月17日付で、HDD SINGAPORE PTE. LTD. から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第1四半期連結累計期間において資本金49百万円、資本準備金が49百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,434百万円、資本準備金が749百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	280,013	—	280,013	280,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	280,013	—	280,013	280,013
セグメント損失(△)	△49,348	—	△49,348	△49,348

(注) 1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	214,517	△873	213,644	213,644
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	214,517	△873	213,644	213,644
セグメント損失(△)	△102,900	△52,586	△155,487	△155,487

(注)1 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(コミットメントライン契約の締結)

当社は、2020年8月25日開催の取締役会において、当社社外役員との間でコミットメントライン契約を締結いたしました。なお、社外役員という立場上、利益相反取引に該当する為、会社法第365条及び第356条に基づき取締役会にて決議いたしました。

1. コミットメントライン設定の目的

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、今後当社の事業活動に影響を及ぼす可能性がある事に加え、継続して重要な営業損失を計上しており、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在していることから、財務基盤の強化を目的とするものであります。

2. コミットメントライン契約の概要

総額250百万円のコミットメントライン契約となります。

契約締結先	融資枠設定金額	契約締結日	契約期間	貸出金利	使用用途
社外取締役	250百万円	2020年8月25日	1年	年3%	運転資金

3. 今後の見通し

当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

(資金の借入)

当社は、2020年9月17日開催の取締役会において、資金の借入を行うことを決議いたしました。

1. 資金の借入の理由

今般の新型コロナウイルス感染症拡大とその長期化に備えて、当社の事業であります室内装飾品関連事業(カーテン等)における運転資金を確保することを目的として実施するものであります。

2. 借入の概要

(1) 借入先 株式会社P&C 代表取締役 江川源(以下、「P&C」といいます。)

東京都品川区大崎二丁目7番12号

資本金 10百万円

事業内容 衛生用品の開発、製造、販売及び輸入

「当社とP&Cとの関係等」

- ・資本関係 該当事項はありません。
- ・取引関係 該当事項はありません。
- ・人的関係 該当事項はありません。
- ・関連当事者への該当状況 該当事項はありません。

・P&Cからの借入理由

金融機関からの借入が困難であることから、当社社外取締役の紹介により、P&Cから借入を行うものであります。

(2) 借入金額 200百万円

(3) 借入利率 3%

(4) 借入実行日 2020年9月24日 100百万円、 2020年9月28日 100百万円

(5) 返済期限 2022年1月24日

(6) 担保の有無 無し

3. 今後の見通し

当該借入による2021年3月期の連結業績への影響は軽微であります。